

中田かわら版 12 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

休耕地に菜の花とひまわりを！

「IZUMI サーキュラー・イエロープロジェクト」始まりました

(寄稿) 社会福祉法人開く会「共働舎」施設長 萩原達也

Think globally, Act locally 「地球規模で考え、身近な地域で行動する」という言葉に初めて触れたのはもう 30 年くらい前、園芸にかかわる方たちのシンポジウムを共働舎が開催した時のことです。

「福祉」という仕事柄、つながりや関係に着目することの大切さを感じていることもあり、ずっと頭の片隅でこの言葉が気になってはいたものの具体的にこれといったアクションにはならないままでした。

ここ数年、「ノウフク（農福）連携」ということが盛んに言われています。農業と福祉を結びつけ、相互に課題を解決し、発展していこうという考えです。共働舎が花や麦の生産を 37 年くらい行ってきたことから「ノウフク連携」にかかわる方々との接点がここ数年で広がり、たくさんの方とお目にかかりました。そうした方々は、これまでの暮らしのあり方をもっと持続可能なものにしていこう、また、そうした動きを様々な社会課題の解決に向けたアクションとして位置づけ行動されていて、たくさんの刺激をうけました。

〈泉区 40 周年などに向けムーブメントに〉

こうした出会いから今、始まったのが「IZUMI サーキュラー・エコノミープロジェクト」と呼ばれるアクションです。その内容は二つあり、ひとつは「廃食油」を回収しエネルギーとして再利用することで CO2 の削減を地域でやっていくこと、もうひとつは「菜の花」と「ひまわり」を育て、菜の花は食用油として用い、ひまわりは「ロケット燃料」などに活用していこうというものです。すでに「菜の花」は先日 300 坪の畑に種まきを終え、春先に最初の収穫、その後、ひまわりを育成します。今後、年間を通じて「黄色の風景」が区内のあちこちに広がっていったらと夢が広がっています。

廃油の回収と再利用は、モデル事業を立ち上げ、アクションの見える化を実現していくことから始める計画です。この「IZUMI サーキュラー・エコノミープロジェクト」は横浜市政政策経営局や区内、市内の企業や地域の社会福祉法人、学校、商店会や自治会など多様な団体がゆるやかにつながる方向で動きだそうとしています。泉区 40 周年や横浜園芸博覧会などに向けたムーブメントにつなげ、広げていこうという考えも出てきています。

すでに区内の小学校では先行して子どもたちが食廃油を集め、廃油の再利用や持続可能な経済の在り方について学びローソクづくりを行い、地域を盛り立てていこうと積極的に動いています。

これからの社会を担っていく子どもたちに手渡していく「バトン」が、少しでも豊かな、可能性に満ちたものであるためにできること、小さくても確実なアクションと「大人の本気」が今、問われていると思います。みなさん一緒にアクションを起こしませんか？



休耕地を耕し菜の花の種をまく開く会のスタッフ。
来春ここに黄色い菜の花が満開になる

令和 7 年 中田・泉区 1 年を振り返って

今年は昭和 100 年、戦後 80 年で何かと話題が多かった。中田では郷土歴史家、農民詩人・小島貞雄さんの生誕百年。中田文化祭（11 月）でも中田連合文化部と泉区歴史の会など共催で生誕百年展を開いた。今年も 1 年、ご協力に感謝。令和 8 年もよろしくお願いいたします。

（宮田貞夫、11 月 9 日記）

1 月 12 日	中田連合賀詞交歓会	J A 横浜みなみ総合センター
1 月 19 日	中田新春健康マラソン	
2 月 2 日	中田連合総合防災訓練	
2 月 2 日	第 38 回泉区駅伝大会	和泉遊水地
2 月 3 日	「横浜なかだTV」放送開始	
2 月 11 日	泉区ふれあいウォーク	
2 月 22 日	「おどりばねこまつり 2025」	踊場ケアプラザ周辺
2 月 27 日	第 38 回泉区社会福祉大会	泉公会堂
3 月 8 日	第 16 回泉区ボランティアフォーラム	泉区社協
3 月 30 日	中田さくらまつり	中田小学校グラウンド
6 月 22 日	第 20 回「泉区太鼓・お囃子フェスティバル」	
6 月 29 日	第 52 回小学生ドッチボール大会	中田小グラウンド
7 月 12, 13 日	第 37 回「ほうずき・あさがお市」	花や館いざわ
7 月 19, 20 日	中田青指「キャンプ教室」	大池公園
7 月 22～26 日	第 51 回子ども水泳教室	中田小学校プール
8 月 5, 8 日	第 1 回中田中央公園記念杯・泉区中学校野球交流大会	
9 月 13 日	第 47 回中田フェスティバル	中田小学校グラウンド
9 月 21 日	御霊神社例大祭	
10 月 5 日	第 19 回「白桜しらゆりまつり」	しらゆり集会所
10 月 12 日	第 26 回葛野コミュニティハウス文化祭	
10 月 12 日	第 59 回中田スポーツ大会（雨天中止）	中田小学校
10 月 18, 19 日	第 28 回「いずみ歌舞伎」	泉公会堂
10 月 25 日	第 43 回「中田シ連福祉大会」	J A 横浜みなみ総合センター
11 月 3 日	第 14 回泉区民ふれあいまつり	和泉遊水地
11 月 8 日	横浜中田ジュニアマーチングバンド	関東大会優勝、全国大会へ
11 月 9 日	第 50 回中田文化祭	中田小学校体育館
11 月 15, 16 日	中田コミュニティハウスまつり	中田コミュニティハウス
11 月 16 日	第 4 回「泉区第九演奏会」	泉公会堂
11 月 29 日	かがやき F e s	泉区地域活動ホームかがやき
12 月 7 日	中田連合「シニア感謝祭」	中田小学校体育館
12 月 22 日	第 7 回ナカダカーポコンサート	葛野コミュニティハウス

<レクイエム>

今田 勝氏（Jazz・作曲家） 5 月 30 日 享年 93 歳 （夏刈場）

鮫島次男氏（藍綬褒章） 8 月 18 日 享年 93 歳 （夏刈場）

編集後記 「縄心」という言葉がある。秀吉が始めたと言われる「太閤検地」は江戸時代も続いた。しかし、江戸時代の検地は実測値より 1. 2 割少なく記帳(登記)するよう配慮された。いわゆる「縄心」(ゆとり)である。農民の勤労意欲を高め、飢饉などに備えるためである。そしてなによりも農家が没落すれば幕府も没落するとして、それを防止するためでもあった。「働き方改革」「2025 年問題」の対応に追われた今年もあとひと月となった。来年は、もっと実感のある「ゆとり」のある年になることを願う。(田中 進)

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員：小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之